

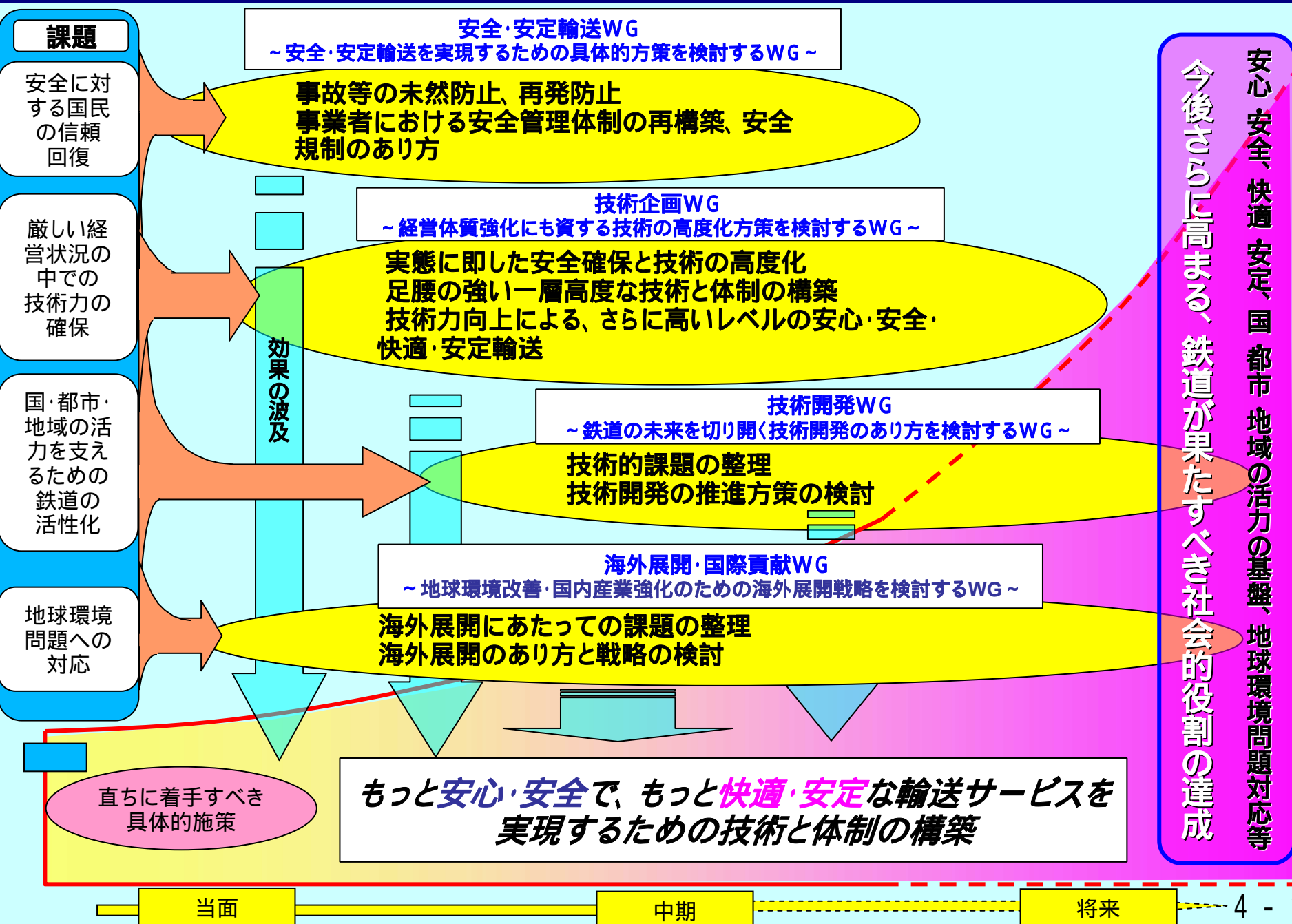
技術・安全小委員会の 検討状況報告(案)

技術・安全小委員会

平成19年6月19日

検討テーマ及びWG設置(案)

～ 検討のロードマップ～



鉄道部会に対する技術・安全小委員会の検討状況報告(案)

1. 我が国の鉄道の技術、安全に関する現状認識と課題

世界的に見てもトップレベルの安全・安定・高密度輸送、様々な技術開発と安全・サービス高度化を実現

人口減少等による利用者的大幅減が予想されるなど、経営環境の悪化が懸念

相次ぐ重大事故により、鉄道の安全に対する国民の信頼の揺らぎ

国土・都市・地域の活力を支える上で、鉄道の果たす社会的役割の高まり

- (1)「安全こそが全てのサービスに優先する」との認識に立ち返り、安全に対する国民の信頼回復に取り組むことが必要
- (2)鉄道の社会的役割にふさわしいシステムへと発展・成長していくため、技術的側面からの支援が必要
- (3)地球環境問題における国際貢献の観点から、日本の環境に優れた鉄道システムの海外展開が必要

もっと安心・安全で、もっと快適・安定な輸送サービスを提供できるよう、鉄道界全体が一層高度な技術と体制の構築

(1)安全で安定な輸送の確立

- ・JR福知山線脱線事故等を契機とした安全・安定輸送ニーズの高まり
- ・運転事故件数の下げ止まり
- ・「乗客死亡者数ゼロ」等の目標設定とその実現
- ・輸送障害の増加傾向
- ・輸送障害の詳細分析による輸送障害の減少、列車影響の最小化
- ・事業改善命令や認定取り消し事例の発生
- ・認定事業者制度の検証、保安監査等の充実強化、事業者内の安全管理体制充実の必要性

(2)実態に即した安全の確保と技術の高度化

- ・技術基準の性能規定化によるメリットが十分普及していない懸念。
- ・**現行制度の検証の必要性**
- ・地上設備の維持管理経費など高コスト構造
- ・ICTを活用した技術の高度化により低コストで安全・安定・高サービスを実現
- ・機械化・アウトソーシングの進展による人員削減と、担当技術分野の細分化
- ・**業界全体の技術継承と、個人の技術的視野拡大等による能力向上の必要性**
- ・さらに高いレベルの社会的要請
- ・シームレス化等社会的役割を果たすのに相応しい鉄道技術の高度化の必要性

(3)技術開発への取組の一層の充実

- ・現在、鉄道関係者が認識している技術的な課題の範囲が狭いのでは。
- ・**より長期的かつ広い視点からの技術的課題の発掘の必要性**
- ・個々の技術的課題に対して技術開発の実施機関(受け皿)が対応できていない。
- ・**技術開発実施機関の役割分担整理の必要性**

(4)我が国の鉄道技術・ノウハウの海外展開の促進

- ・環境面から、アジア大都市等で鉄道の果たす役割の高まり
- ・都市鉄道や高速鉄道の導入の動きの活発化
- ・**優れた鉄道技術・ノウハウの展開により、地球規模の課題の解決への寄与等、国際社会へ貢献**
- ・**海外展開による鉄道技術イノベーションを通じて、一層高度な技術と体制の構築に寄与**
- ・**上記の観点から海外展開促進戦略の必要性**

2. 直ちに着手すべき具体的施策

(1)ホームドア・可動式ホーム柵整備促進

(2)ストック老朽化・機能更新対策の推進

3. 今後の進め方について

- (1)直ちに着手すべき具体的施策
重点的・効率的推進方策や鉄道利用者・地元自治体の意向にも配慮しつつ、予算要求などに向けてさらに検討を進めていくべき。
- (2)引き続き鉄道部会として検討を進めるべき課題
1.(1)~(4)の4つの課題については、WGを設置して検討を深度化し、適宜、鉄道部会等に報告・審議のうえで、その成果を広く発信する。

安全・安定輸送WGにおける検討テーマ(案)

～安全・安定輸送を実現するための具体的方策を検討するWG～

検討テーマ

検討項目

事故・インシデント、輸送障害の分析を踏まえた事故等の未然防止及び再発防止のための対策の推進

「乗客の死亡者ゼロ、概ね15年で運転事故件数約3割削減」に向けた各種施策の検討など運転事故の減少に向けた取組

インシデント制度の検証

輸送障害の詳細な分析とそれを踏まえた輸送障害の減少と利用者への影響の最小化に向けた施策のあり方

その他のリスク情報の管理手法の検討

安全投資・維持管理費の分析
索道事故調査のあり方の検討

事業者の安全管理体制の再構築と事業者の実態を踏まえた安全規制のあり方

安全規制(チェック体制)などこれまでの安全規制の再点検

鉄道事業における内部監査、リスク管理手法(再掲)など安全管理体制の再構築

技術企画WGにおける検討テーマ(案)

～ 経営体質強化にも資する技術の高度化方策を検討するWG ～

検討テーマ	検討項目
実態に即した安全の確保と技術の高度化	運行頻度等に応じた性能規定化のメリットの最大限の発揮に向けた方策
	低コストな安全システムの導入促進に向けた技術開発と環境整備
	車両の標準化等コストダウンに向けた有効策の提案
足腰の強い、一層高度な技術と体制の構築	鉄道事業者自身が保持すべき技術の明確化とその継承のあり方
	望ましいアウトソーシングのあり方と留意点
	技術教育のあり方
	鉄道技術者の視野の拡大・能力向上のあり方
技術力向上による安心・安全・快適・安定な輸送の実現	鉄道の有する社会的役割を果たすのに相応しい鉄道技術の高度化の検討(シームレス化・ユニバーサル・デザイン、計画的な機能更新など)

技術開発WGにおける検討テーマ(案)

～ 鉄道の未来を切り開く技術開発のあり方を検討するWG～

検討テーマ

検討項目

技術的課題の整理

社会的に要求される将来の鉄道の姿の明確化

細分化された分野毎の個別技術の深度化のみならず、トータルシステムとしての鉄道全体を見たうえでの技術開発課題の発掘、整理

技術開発の推進方策の検討

技術開発課題に対する技術開発面からの解決策の洗い出し

各機関ごとの研究開発の手法、従事者の特性等の把握

各機関が担うべき望ましい役割分担のあり方の整理

各機関が望ましい役割分担に沿って、より効果的な研究開発が進められるための人材確保・育成のあり方を含めた組織、体制、仕組み等の検討

必要な支援策の検討

等

海外展開・国際貢献WGにおける検討テーマ(案)
 ~ 地球環境改善・国内産業強化のための海外展開戦略を検討するWG ~

検討テーマ	検討項目
海外展開にあたっての課題の整理	海外展開する意義・必要性
	海外市場の動向
	欧・米・アジア主要国の海外展開体制
	我が国の海外展開の現状 (技術的な強み、体制的な弱み等)
海外展開のあり方と戦略の検討	我が国の海外展開のあるべき姿の検討
	あるべき姿の実現のための具体的戦略の検討 鉄道分野における国際貢献、ODAの展開 機能的な輸出体制 ・国が果たす役割 ・コンサルティング機能の強化 ・海外展開に必要な人材育成 日本仕様の標準化、国際規格化